

平成29年度
和歌山県の財務書類について

和歌山県

目 次

1. 概 要

| | |
|----------------------------|---|
| (1) はじめに | 1 |
| (2) 財務4表の相関図 | 1 |
| (3) 財務書類の対象範囲（一般会計等・全体・連結） | 2 |
| (4) 一般会計等財務書類の概要 | 3 |

2. 一般会計等財務書類

| | |
|----------------|----|
| 貸借対照表 | 8 |
| 行政コスト計算書 | 9 |
| 純資産変動計算書 | 10 |
| 資金収支計算書 | 11 |
| 一般会計等財務書類注記 | 12 |
| 一般会計等財務書類附属明細書 | 18 |

3. 全体財務書類

| | |
|-------------|----|
| 全体貸借対照表 | 31 |
| 全体行政コスト計算書 | 32 |
| 全体純資産変動計算書 | 33 |
| 全体資金収支計算書 | 34 |
| 全体財務書類注記 | 35 |
| 全体財務書類附属明細書 | 38 |

4. 連結財務書類

| | |
|-------------|----|
| 連結貸借対照表 | 39 |
| 連結行政コスト計算書 | 40 |
| 連結純資産変動計算書 | 41 |
| 連結財務書類注記 | 42 |
| 連結財務書類附属明細書 | 46 |

1. 概 要

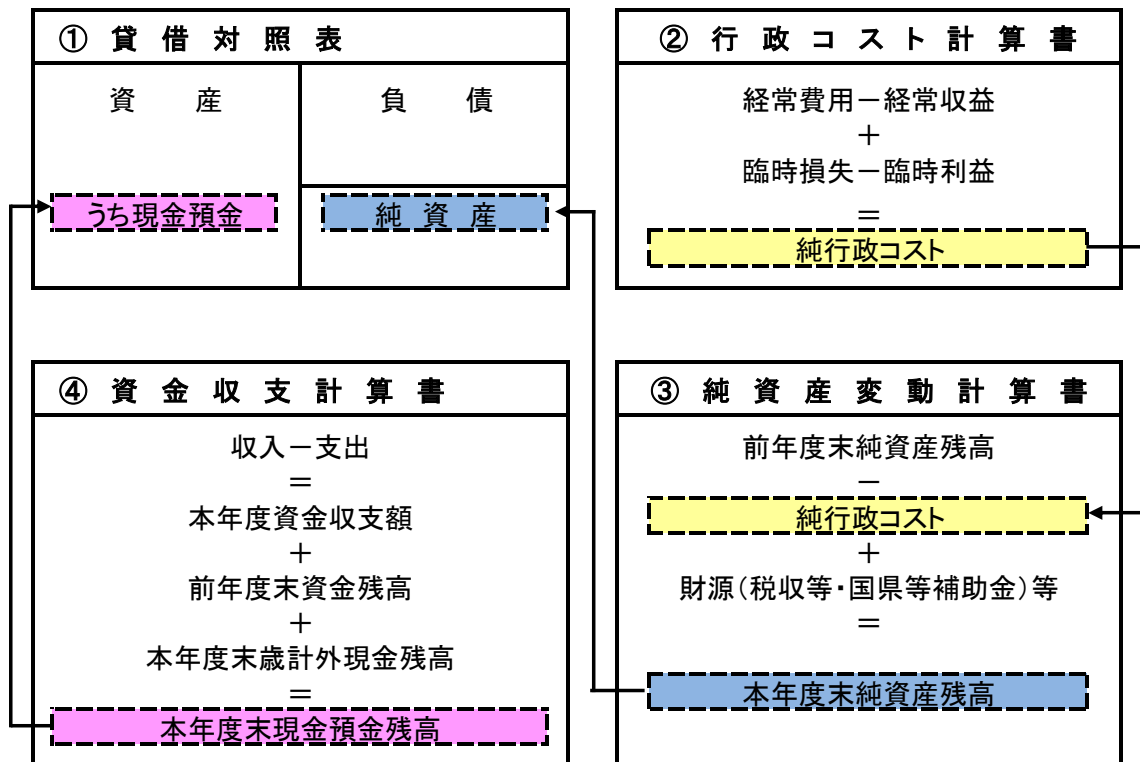
(1) はじめに

- 和歌山県では、平成 20 年度決算から平成 27 年度決算まで「総務省方式改訂モデル」による財務 4 表を、平成 28 年度決算からは、「統一的な基準による地方公会計」に基づく財務 4 表を作成・公表しています。

| 区分 | 内容 |
|------------|---|
| ① 貸借対照表 | 全ての固定資産を固定資産台帳により把握するとともに、現金収支を伴わない退職手当引当金等も加味し、年度末で本県が保有する資産・負債・純資産の状況を明らかにするもの。 |
| ② 行政コスト計算書 | ①貸借対照表の資産とならない経常的な費用について、減価償却費等の現金支出を伴わないものも含めて、1年間分の費用（行政コスト）を明らかにするもの。 |
| ③ 純資産変動計算書 | ②行政コスト計算書で得られた費用の額に、1年間分の税金等や国庫支出金の財源等を差し引きして、純資産の変動額を明らかにするもの。 |
| ④ 資金収支計算書 | 歳入歳出を「業務活動収支」「投資活動収支」「財務活動収支」の3つに区分し、それぞれの現金収支を明らかにするもの。 |

(2) 財務 4 表の相関図

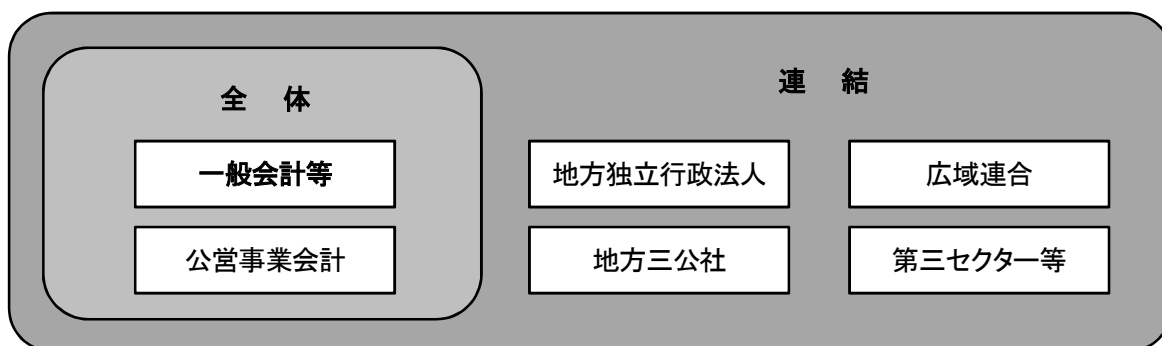
- 財務 4 表の相関関係は次のとおりです。



(3) 財務書類の対象範囲（一般会計等・全体・連結）

- 一般会計等、全体、連結の3種類に区分し、財務書類を作成しています。

| 区分 | 内容 |
|-------|--|
| 一般会計等 | 一般会計に公営事業会計以外の特別会計を加えたもの |
| 全体 | 一般会計等に公営事業会計を加えた、県全体の会計 |
| 連結 | 県全体の会計に県の関与が大きい関係団体を加えて、一つの行政サービス実施主体とみなしたもの |



※第三セクター等：県の出資割合が25%以上の団体等。

(4) 一般会計等財務書類の概要

①貸借対照表

- 貸借対照表は、県がどのような資産や負債を保有しているかを表すものであり、平成 29 年度末の資産は 1 兆 3,569 億円、負債は 1 兆 1,752 億円で、資産と負債の差である純資産は 1,817 億円となっています。また、県民 1 人当たり^{*1}に換算すると、資産は 139 万円、負債は 121 万円、純資産は 19 万円となります。
- 資産の内容は主に、道路や橋りょう等のインフラ資産や、庁舎や学校等の事業用資産となっており、これらの有形固定資産が全体の 82%を占めています。前年度と比較すると、資産全体では、有形固定資産の減価償却の影響等で 39 億円減少しています。なお、国道等の県が実際に所有していないものについては資産から除かれています。
- 負債の内容は主に、地方債（固定負債の地方債と流動負債の 1 年以内償還予定地方債）となっており、全体の 87%を占めています。前年度と比較すると、負債全体では 15 億円減少しています。
- これらの結果、純資産は前年度と比べて 24 億円減少しており、資産形成のために充当した資源の蓄積である固定資産等形成分は 1 兆 3,400 億円、地方債等の負債により不足を補った分は 1 兆 1,583 億円となっています。

(※1) 人口は平成 30 年 1 月 1 日現在の住民基本台帳人口 975,074 人で計算しています（以下同様）。

(単位: 億円)

| 資産の部 | 29年度末 | 28年度末 | 増減 | 負債の部 | 29年度末 | 28年度末 | 増減 |
|-----------------|---------------|---------------|-------------|------------------|---------------|---------------|-------------|
| 固定資産 | 13,151 | 13,213 | △ 62 | 固定負債 | 10,962 | 10,915 | 47 |
| 有形固定資産 | 11,166 | 11,224 | △ 59 | 地方債 | 9,567 | 9,475 | 92 |
| 事業用資産 | 3,220 | 3,258 | △ 38 | (うち臨時財政対策債) | 3,548 | 3,502 | 46 |
| インフラ資産 | 7,829 | 7,847 | △ 19 | 長期未払金 | 30 | 34 | △ 4 |
| 物品 | 117 | 119 | △ 2 | 退職手当引当金 | 1,109 | 1,148 | △ 38 |
| 無形固定資産 | 3 | 3 | 0 | 損失補償等引当金 | 256 | 258 | △ 2 |
| 投資その他の資産 | 1,981 | 1,985 | △ 4 | 流動負債 | 790 | 852 | △ 62 |
| 投資及び出資金 | 846 | 848 | △ 1 | 1年内償還予定地方債 | 677 | 733 | △ 56 |
| 投資損失引当金 | △ 1 | △ 1 | 0 | (うち臨時財政対策債) | 185 | 175 | 10 |
| 長期延滞債権 | 122 | 120 | 2 | 未払金 | 4 | 11 | △ 7 |
| 長期貸付金 | 474 | 491 | △ 17 | 賞与等引当金 | 82 | 81 | 1 |
| 基金 | 540 | 528 | 13 | 預り金 | 27 | 28 | △ 0 |
| 徴収不能引当金 | △ 1 | △ 1 | △ 0 | 負債合計 | 11,752 | 11,767 | △ 15 |
| 流動資産 | 418 | 395 | 23 | 純資産の部 | 29年度末 | 28年度末 | 増減 |
| 現金預金 | 165 | 146 | 18 | 固定資産等形成分 | 13,400 | 13,451 | △ 51 |
| 未収金 | 5 | 11 | △ 6 | 余剰分(不足分) | △ 11,583 | △ 11,610 | 27 |
| 短期貸付金 | 30 | 20 | 10 | 純資産合計 | 1,817 | 1,841 | △ 24 |
| 基金 | 219 | 219 | 0 | 負債及び純資産合計 | 13,569 | 13,608 | △ 39 |
| 徴収不能引当金 | △ 0 | △ 1 | 0 | | | | |
| 資産合計 | 13,569 | 13,608 | △ 39 | | | | |

(注) 表は四捨五入の関係で合計・増減が合わない場合があります(以下同様)。

②行政コスト計算書

- 行政コスト計算書は、人件費、維持補修費、社会保障給付などの資産形成に結びつかない行政サービスに係る費用（経常費用）^{※2}と、その行政サービスの直接の対価として得られた使用料・手数料等の収入（経常収益）^{※3}を対比させたもので、1年間の行政サービスの提供に係る経費が受益者負担等でどの程度賄われているかを表しています。
- 平成29年度の経常費用は3,662億円、経常収益は151億円で、経常費用と経常収益の差である純経常行政コストは3,511億円となっており、これに臨時損失及び臨時利益を加味した純行政コストは3,562億円となっています。また、県民1人当たりには換算すると、経常費用は38万円、経常収益は2万円、純行政コストは37万円となります。
- 経常費用の内容は主に、人に関するコストである「人件費」が1,374億円（38%）、物に関するコストである「物件費等」が984億円（27%）、国・市町村・団体等の県以外の主体等に支払うコストである「移転費用」が1,181億円（32%）となっています。

（※2）固定資産の減価償却費、退職手当引当金繰入額などの現金支出を伴わない費用も含まれます。

（※3）税収等については、地方公共団体の所有者たる住民からの拠出として捉え、行政コスト計算書上の収益ではなく、純資産変動計算書上の財源として計上しています。

(単位:億円)

| 科目 | 金額 |
|------------------------|--------------|
| 経常費用(A) | 3,662 |
| 業務費用 | 2,481 |
| 人件費 | 1,374 |
| 物件費等 | 984 |
| うち物件費 | 307 |
| うち維持補修費 | 328 |
| うち減価償却費 | 350 |
| その他の業務費用 | 123 |
| 移転費用 | 1,181 |
| うち補助金等 | 1,024 |
| うち社会保障給付 | 111 |
| 経常収益(B) | 151 |
| 使用料及び手数料 | 64 |
| その他 | 86 |
| 純経常行政コスト(C=A-B) | 3,511 |
| 臨時損失(D) | 53 |
| 臨時利益(E) | 2 |
| 純行政コスト(F=C+D-E) | 3,562 |

③純資産変動計算書

- 純資産変動計算書は、貸借対照表の純資産が1年間でどの程度増減したのかを表すもので、平成29年度末の純資産残高は1,817億円となっており、前年度と比べて24億円減少しています。
- 純資産変動額の内訳として、純行政コストと税収等（地方交付税含む）の財源を比較することで、1年間の行政サービスの提供に係る純行政コストが、地方税や地方交付税等でどの程度賄われているかが分かります。
- なお、純資産が減少した主な要因は、地方財源の不足を補うために発行している臨時財政対策債^{※4}の残高が増加したことによるものです（臨時財政対策債の残高は前年度と比べて56億円増加）。

（※4）臨時財政対策債は地方財政の不足を補うために発行されるものであり、その元利償還金の全額が後年度に地方交付税により措置されることとなっています。

（単位：億円）

| 科目 | 金額 |
|--------------------|---------|
| 前年度末純資産残高(A) | 1,841 |
| 純行政コスト(B) | △ 3,562 |
| 財源(C) | 3,530 |
| 税収等 | 2,797 |
| 国県等補助金 | 733 |
| 本年度差額(D=B+C) | △ 33 |
| 資産評価差額(E) | △ 1 |
| 無償所管換等(F) | 10 |
| 本年度純資産変動額(G=D+E+F) | △ 24 |
| 本年度末純資産残高(H=A+G) | 1,817 |

④資金収支計算書

- 資金収支計算書は、1年間における行政活動に伴う現金等の資金の流れを、その性質に応じて3つの収支（業務活動収支・投資活動収支・財務活動収支）に分類したものです。
- 平成29年度においては、人件費や社会保障給付など経常的なサービスの提供に伴う支出と税込等の収入との収支を示す「業務活動収支」は130億円の黒字、公共施設等の整備や貸付金の貸付・回収などの収支を示す「投資活動収支」は148億円の赤字、地方債の発行と既発債の償還などの収支を示す「財務活動収支」は36億円の黒字となっています。これは、財務活動収支等の黒字分が投資活動収支の赤字分に充てられていることを表しています。
- これらの結果、資金収支差額は19億円の黒字となり、これに前年度末資金残高、本年度末歳計外現金残高を加えた平成29年度末の現金預金残高は165億円となっています。

(単位:億円)

| 科目 | 金額 |
|--------------------------|--------------|
| 業務支出 | 3,738 |
| 業務費用支出 | 2,558 |
| うち人件費支出 | 1,412 |
| うち物件費等支出 | 644 |
| うち支払利息支出 | 91 |
| 移転費用支出 | 1,181 |
| うち補助金等支出 | 1,024 |
| うち社会保障給付支出 | 111 |
| 業務収入 | 3,883 |
| うち税込等収入 | 3,180 |
| うち国県等補助金収入 | 556 |
| うち使用料及び手数料収入 | 64 |
| 臨時支出 | 35 |
| 臨時収入 | 20 |
| 業務活動収支(A) | 130 |
| 投資活動支出 | 959 |
| うち公共施設等整備費支出 | 302 |
| うち基金積立金支出 | 71 |
| うち貸付金支出 | 586 |
| 投資活動収入 | 811 |
| うち国県等補助金収入 | 156 |
| うち基金取崩収入 | 58 |
| うち貸付金元金回収収入 | 592 |
| 投資活動収支(B) | △ 148 |
| 財務活動支出(地方債償還支出) | 1,096 |
| 財務活動収入(地方債発行収入) | 1,132 |
| 財務活動収支(C) | 36 |
| 本年度資金収支額(D=A+B+C) | 19 |
| 前年度末資金残高(E) | 119 |
| 本年度末資金残高(F=D+E) | 137 |
| 本年度末歳計外現金残高(G) | 27 |
| 本年度末現金預金残高(H=F+G) | 165 |

⑤一般会計等財務書類に基づく指標

■純資産比率

純資産の変動は将来世代と現役世代との間で負担の割合が変動したことを意味します。この比率が高いほど、少ない負債で資産形成を進めてきたことを意味し、将来世代の負担が少ないといえます。

$$\text{純資産比率} = \frac{\text{純資産 (1, 817 億円)}}{\text{資産合計 (1 兆3, 569 億円)}} = 13\%$$

※後年度に元利償還金の全額が地方交付税で措置されることとなっている臨時財政対策債を負債から差し引いて考えた場合の純資産比率は41%となります。

■有形固定資産減価償却率（資産老朽化比率）

有形固定資産（土地等の非償却資産を除く）の取得価額に対する減価償却累計額の割合。この比率が高いほど減価償却が進んでいることを意味し、老朽化が進んでいることが分かります。

$$\text{有形固定資産減価償却率} = \frac{\text{減価償却累計額 (1 兆4 25 億円)}}{\text{償却資産取得価額 (1 兆9, 105 億円)}} = 55\%$$

■行政コスト対税収等比率

税収等の一般財源等に対する行政コストの比率を算出することによって、当該年度の税収等のうち、どれだけが資産形成を伴わない行政コストに費消されたのかを把握することができます。

$$\text{行政コスト対税収等比率} = \frac{\text{純経常行政コスト (3, 511 億円)}}{\text{税収等 (2, 797 億円)}} = 126\%$$

※後年度に元利償還金の全額が地方交付税で措置されることとなっている臨時財政対策債を負債から差し引いて考えた場合の行政コスト対税収等比率は119%となります。

■受益者負担比率

行政コスト計算書における経常収益は、使用料及び手数料など、行政サービスに係る受益者負担の金額であることから、経常費用と比較することにより、行政サービスの提供に対する受益者負担の割合を算出することができます。

$$\text{受益者負担比率} = \frac{\text{経常収益 (1 51 億円)}}{\text{経常費用 (3, 662 億円)}} = 4.1\%$$

※税収等については、地方公共団体の所有者たる住民からの拠出として捉え、行政コスト計算書上の収益ではなく、純資産変動計算書上の財源として計上しています。

2. 一般会計等財務書類

貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

(単位:百万円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|---------------|-------------|----------------|-------------|
| 【資産の部】 | | 【負債の部】 | |
| 固定資産 | 1,315,076 ※ | 固定負債 | 1,096,226 |
| 有形固定資産 | 1,116,588 ※ | 地方債 | 956,695 |
| 事業用資産 | 322,041 | 長期未払金 | 3,047 |
| 土地 | 158,448 | 退職手当引当金 | 110,926 |
| 立木竹 | 6,986 | 損失補償等引当金 | 25,558 |
| 建物 | 356,598 | その他 | - |
| 建物減価償却累計額 | △ 221,962 | 流動負債 | 78,982 |
| 工作物 | 59,932 | 1年内償還予定地方債 | 67,675 |
| 工作物減価償却累計額 | △ 38,382 | 未払金 | 395 |
| 船舶 | 1,067 | 未払費用 | - |
| 船舶減価償却累計額 | △ 656 | 前受金 | - |
| 浮標等 | 35 | 前受収益 | - |
| 浮標等減価償却累計額 | △ 25 | 賞与等引当金 | 8,163 |
| 航空機 | 490 | 預り金 | 2,749 |
| 航空機減価償却累計額 | △ 490 | その他 | - |
| その他 | - | 負債合計 | 1,175,208 |
| その他減価償却累計額 | - | 【純資産の部】 | |
| 建設仮勘定 | - | 固定資産等形成分 | 1,339,961 |
| インフラ資産 | 782,872 ※ | 余剰分(不足分) | △ 1,158,278 |
| 土地 | 77,259 | | |
| 建物 | 5,852 | | |
| 建物減価償却累計額 | △ 4,263 | | |
| 工作物 | 1,458,005 | | |
| 工作物減価償却累計額 | △ 759,873 | | |
| その他 | - | | |
| その他減価償却累計額 | - | | |
| 建設仮勘定 | 5,893 | | |
| 物品 | 28,553 | | |
| 物品減価償却累計額 | △ 16,877 | | |
| 無形固定資産 | 339 | | |
| ソフトウェア | 339 | | |
| その他 | 0 | | |
| 投資その他の資産 | 198,149 ※ | | |
| 投資及び出資金 | 84,619 ※ | | |
| 有価証券 | 13,158 | | |
| 出資金 | 71,460 | | |
| その他 | - | | |
| 投資損失引当金 | △ 55 | | |
| 長期延滞債権 | 12,246 | | |
| 長期貸付金 | 47,439 | | |
| 基金 | 54,010 | | |
| 減債基金 | - | | |
| その他 | 54,010 | | |
| その他 | - | | |
| 徴収不能引当金 | △ 110 | | |
| 流動資産 | 41,814 ※ | | |
| 現金預金 | 16,465 | | |
| 未収金 | 492 | | |
| 短期貸付金 | 3,015 | | |
| 基金 | 21,869 | | |
| 財政調整基金 | 4,094 | | |
| 減債基金 | 17,775 | | |
| 棚卸資産 | - | | |
| その他 | - | | |
| 徴収不能引当金 | △ 28 | | |
| 資産合計 | 1,356,890 | 純資産合計 | 181,683 ※ |
| | | 負債及び純資産合計 | 1,356,890 ※ |

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

行政コスト計算書

自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

(単位:百万円)

| 科目 | 金額 |
|-------------|---------|
| 経常費用 | 366,178 |
| 業務費用 | 248,122 |
| 人件費 | 137,443 |
| 職員給与費 | 116,579 |
| 賞与等引当金繰入額 | 8,163 |
| 退職手当引当金繰入額 | 9,572 |
| その他 | 3,129 |
| 物件費等 | 98,404 |
| 物件費 | 30,658 |
| 維持補修費 | 32,735 |
| 減価償却費 | 34,980 |
| その他 | 31 |
| その他の業務費用 | 12,275 |
| 支払利息 | 9,061 |
| 徴収不能引当金繰入額 | 111 |
| その他 | 3,103 |
| 移転費用 | 118,056 |
| 補助金等 | 102,395 |
| 社会保障給付 | 11,074 |
| 他会計への繰出金 | 1,080 |
| その他 | 3,507 |
| 経常収益 | 15,060 |
| 使用料及び手数料 | 6,413 |
| その他 | 8,647 |
| 純経常行政コスト | 351,118 |
| 臨時損失 | 5,310 ※ |
| 災害復旧事業費 | 3,474 |
| 資産除売却損 | 1,819 |
| 投資損失引当金繰入額 | - |
| 損失補償等引当金繰入額 | 0 |
| その他 | 16 |
| 臨時利益 | 191 |
| 資産売却益 | 191 |
| その他 | - |
| 純行政コスト | 356,237 |

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

純資産変動計算書

自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

(単位:百万円)

| 科目 | 合計 | 固定資産 等形成分 | 余剰分 (不足分) |
|----------------|-----------|--------------|--------------|
| 前年度末純資産残高 | 184,099 ※ | 1,345,095 | △ 1,160,997 |
| 純行政コスト(△) | △ 356,237 | | △ 356,237 |
| 財源 | 352,993 | | 352,993 |
| 税収等 | 279,706 | | 279,706 |
| 国県等補助金 | 73,287 | | 73,287 |
| 本年度差額 | △ 3,244 | | △ 3,244 |
| 固定資産等の変動(内部変動) | | △ 5,962 | 5,962 |
| 有形固定資産等の増加 | | 30,226 | △ 30,226 |
| 有形固定資産等の減少 | | △ 37,027 | 37,027 |
| 貸付金・基金等の増加 | | 69,903 | △ 69,903 |
| 貸付金・基金等の減少 | | △ 69,064 | 69,064 |
| 資産評価差額 | △ 145 | △ 145 | |
| 無償所管換等 | 973 | 973 | |
| その他 | - | - | - |
| 本年度純資産変動額 | △ 2,416 | △ 5,134 | 2,718 |
| 本年度末純資産残高 | 181,683 | 1,339,961 | △ 1,158,278 |

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

資金収支計算書

自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

(単位:百万円)

| 科目 | 金額 |
|--------------------|-----------------|
| 【業務活動収支】 | |
| 業務支出 | 373,834 |
| 業務費用支出 | 255,778 |
| 人件費支出 | 141,206 |
| 物件費等支出 | 64,404 |
| 支払利息支出 | 9,061 |
| その他の支出 | 41,107 |
| 移転費用支出 | 118,056 |
| 補助金等支出 | 102,395 |
| 社会保障給付支出 | 11,074 |
| 他会計への繰出支出 | 1,080 |
| その他の支出 | 3,507 |
| 業務収入 | 388,287 |
| 税金等収入 | 317,954 |
| 国県等補助金収入 | 55,626 |
| 使用料及び手数料収入 | 6,427 |
| その他の収入 | 8,280 |
| 臨時支出 | 3,474 |
| 災害復旧事業費支出 | 3,474 |
| その他の支出 | - |
| 臨時収入 | 2,044 |
| 業務活動収支 | 13,023 |
| 【投資活動収支】 | |
| 投資活動支出 | 95,853 |
| 公共施設等整備費支出 | 30,226 |
| 基金積立金支出 | 7,070 |
| 投資及び出資金支出 | - |
| 貸付金支出 | 58,557 |
| その他の支出 | - |
| 投資活動収入 | 81,086 ※ |
| 国県等補助金収入 | 15,617 |
| 基金取崩収入 | 5,803 |
| 貸付金元金回収収入 | 59,247 |
| 資産売却収入 | 418 |
| その他の収入 | - |
| 投資活動収支 | △ 14,767 |
| 【財務活動収支】 | |
| 財務活動支出 | 109,628 |
| 地方債償還支出 | 109,628 |
| その他の支出 | - |
| 財務活動収入 | 113,237 |
| 地方債発行収入 | 113,237 |
| その他の収入 | - |
| 財務活動収支 | 3,609 |
| 本年度資金収支額 | 1,866 ※ |
| 前年度末資金残高 | 11,851 |
| 本年度末資金残高 | 13,717 |
| 前年度末歳計外現金残高 | 2,792 |
| 本年度歳計外現金増減額 | △ 43 |
| 本年度末歳計外現金残高 | 2,749 |
| 本年度末現金預金残高 | 16,465 ※ |

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

一般会計等財務書類 注記

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

- ① 有形固定資産……………取得原価
ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。
 - ア 昭和 59 年度以前に取得したもの……………再調達原価
 - イ 昭和 60 年度以後に取得したもの
取得原価が判明しているもの……………取得原価
取得原価が不明なもの……………再調達原価
- ② 無形固定資産……………取得原価
ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。
取得原価が判明しているもの……………取得原価
取得原価が不明なもの……………再調達原価

(2) 有価証券等の評価基準及び評価方法

- ① 有価証券
 - ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格
 - イ 市場価格のないもの……………取得原価
- ② 出資金……………出資金額

(3) 有形固定資産等の減価償却の方法

定額法によっています。

(4) 引当金の計上基準及び算定方法

- ① 投資損失引当金
市場価格のない投資及び出資金のうち、連結対象団体（会計）に対するものについて、実質価額が著しく低下した場合（出資金の価値の低下割合が 30%以上）における実質価額と取得価額との差額を計上しています。
- ② 徴収不能引当金
過去 5 年間の平均不納欠損率（過去 5 年間の不納欠損額／過去 5 年間の不納欠損決定前年度末債権残高）により、徴収不能見込額を計上しています。
- ③ 退職手当引当金
期末自己都合要支給額を計上しています。
- ④ 損失補償等引当金
履行すべき額が確定していない損失補償債務等のうち、地方公共団体の財政の健全

化に関する法律に規定する将来負担比率の算定に含めた将来負担額を計上していません。

⑤ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当について、それぞれ本会計年度の期間(12月～3月の4か月分)に対応する部分を計上しています。

(5) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

ア 所有権移転ファイナンス・リース取引(リース期間が1年以内のリース取引及びリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。)

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

イ ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(6) 資金収支計算書における資金の範囲

現金及び現金同等物を計上しています。

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

(7) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

① 物品の計上基準

物品については、和歌山県物品管理等事務規程に定める重要物品の場合に資産として計上しています。

② 借換債の計上勘定科目

借換債については、固定負債(地方債)として計上しています。

2 重要な会計方針の変更等

重要な会計方針の変更はありません。

3 重要な後発事象

該当ありません。

4 偶発債務

(1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況

保証債務及び損失補償債務負担の状況は、以下のとおりです。

| 団体名 | 確定債務額 | 履行すべき額が確定していない 損失補償債務等 | | 総額 |
|---------------|-------|---------------------------|---------------|------------|
| | | 損失補償等引当 金計上額 | 貸借対照表 未計上額 | |
| 和歌山県土地開発公社 | - | 21,805 百万円 | - | 21,805 百万円 |
| (公財) 和歌山県農業公社 | - | 8 百万円 | - | 8 百万円 |
| わかやま森林と緑の公社 | - | 3,038 百万円 | - | 3,038 百万円 |
| 和歌山県信用保証協会 | - | 707 百万円 | - | 707 百万円 |
| 計 | - | 25,558 百万円 | - | 25,558 百万円 |

5 追加情報

(1) 財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

- ① 一般会計等財務書類の対象範囲は次のとおりです。
 - 一般会計
 - 農林水産振興資金特別会計
 - 中小企業振興資金特別会計
 - 母子父子寡婦福祉資金特別会計
 - 職員住宅特別会計
 - 市町村振興資金特別会計
 - 自動車税等証紙特別会計
 - 用地取得事業特別会計
 - 公債管理特別会計
 - 修学奨励金特別会計
- ② 一般会計等の対象範囲のうち、自動車税等証紙特別会計については、普通会計の対象範囲には含まれません。
- ③ 地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。
- ④ 百万円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。
- ⑤ 地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率の状況は、次のとおりです。

| | |
|----------|--------|
| 実質赤字比率 | — |
| 連結実質赤字比率 | — |
| 実質公債費比率 | 8.7% |
| 将来負担比率 | 196.0% |
- ⑥ 利子補給等に係る債務負担行為の翌年度以降の支出予定額 **5,772 百万円**

⑦ 繰越事業に係る将来の支出予定額 53,063 百万円

(2) 貸借対照表にかかる事項

① 売却可能資産の範囲及び内訳は、次のとおりです。

ア 範囲

次のいずれかに該当する資産を計上しています。

(ア) 現に公用又は公共用に供されていない公有財産（一時的に賃貸している場合を含む）

(イ) 売却が既に決定している、又は、近い将来売却が予定されていると判断される資産

イ 内容

| | | |
|-----------|---------------|---------|
| 事業用資産（土地） | 売却可能額 | 900 百万円 |
| | （貸借対照表における簿価） | 968 百万円 |
| 事業用資産（建物） | 売却可能額 | 1 百万円 |
| | （貸借対照表における簿価） | 9 百万円 |

売却可能額は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律における評価方法によっています。

② 減債基金に係る積立不足の有無等

積立不足はありません。

③ 基金借入金（繰替運用）

県債管理基金 13,324 百万円

土地開発基金 26,676 百万円

④ 地方交付税措置のある地方債のうち、将来の普通交付税の算定基礎である基準財政需要額に含まれることが見込まれる金額 621,795 百万円

⑤ 地方公共団体の財政の健全化に関する法律における将来負担比率の算定要素は、次のとおりです。

| | |
|---------------------------|---------------|
| 標準財政規模 | 295,631 百万円 |
| 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額 | 51,746 百万円 |
| 将来負担額 | 1,180,378 百万円 |
| 充当可能基金額 | 63,890 百万円 |
| 特定財源見込額 | 16,456 百万円 |
| 地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額 | 621,795 百万円 |

⑥ 地方自治法第 234 条の 3 に基づく長期継続契約で貸借対照表に計上されたリース債務金額

該当はありません。

(3) 純資産変動計算書に係る事項

純資産における固定資産等形成分及び余剰分（不足分）の内容

① 固定資産等形成分

固定資産の額に流動資産における短期貸付金及び基金等を加えた額を計上しています。

② 余剰分（不足分）

純資産合計額のうち、固定資産等形成分を差し引いた金額を計上しています。

(4) 資金収支計算書に係る事項

① 基礎的財政収支 7,317 百万円

② 既存の決算情報との関連性

| | 収入（歳入） | 支出（歳出） |
|-------------------------|-------------|-------------|
| 歳入歳出決算書 | 554,005 百万円 | 533,694 百万円 |
| 財務書類の対象となる会計の範囲の相違に伴う差額 | 52,500 百万円 | 49,095 百万円 |
| 繰越金に伴う差額 | △11,851 百万円 | - |
| 資金収支計算書 | 584,654 百万円 | 582,789 百万円 |

上記の歳入歳出決算書は「一般会計」を対象範囲としているのに対し、資金収支計算書は「一般会計等」を対象範囲としているため、歳入歳出決算書と資金収支計算書は一部の特別会計の分だけ相違します。

また、繰越金については、歳入歳出決算書では収入として計上しますが、公会計では計上しないため、その分だけ相違します。

③ 資金収支計算書の業務活動収支と純資産変動計算書の本年度差額との差額の内訳

資金収支計算書

| | |
|-------------------|-------------|
| 業務活動収支 | 13,023 百万円 |
| 投資活動収入の国県等補助金収入 | 15,617 百万円 |
| 未収債権、未払債務等の増加（減少） | 22,570 百万円 |
| 減価償却費 | △34,980 百万円 |
| 賞与等引当金繰入額 | △8,163 百万円 |
| 退職手当引当金繰入額 | △9,572 百万円 |
| 徴収不能引当金繰入額 | △111 百万円 |
| 資産除売却益（損） | △1,628 百万円 |
| 純資産変動計算書の本年度差額 | △3,244 百万円 |

④ 一時借入金の状況

資金収支計算書上、一時借入金の増減額は含まれていません。

なお、一時借入金の限度額は次のとおりです。

一時借入金の限度額 80,000 百万円

⑤ 重要な非資金取引

該当ありません。

(5) 表示単位未満の取扱い

百万円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

一般会計等附属明細書

1. 貸借対照表の内容に関する明細

(1) 資産項目の明細

① 有形固定資産の明細

(単位:百万円)

| 区分 | 前年度末残高 (A) | 本年度増加額 (B) | 本年度減少額 (C) | 本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D) | 本年度末 減価償却累計額 (E) | 本年度償却額 (F) | 差引本年度末残高 (D)-(E) (G) |
|--------|---------------|---------------|---------------|------------------------------|------------------------|---------------|----------------------------|
| 事業用資産 | 580,061 | 5,924 | 2,430 | 583,555 | 261,514 | 7,297 | 322,041 |
| 土地 | 158,660 | 140 | 353 | 158,448 | - | - | 158,448 |
| 立木竹 | 6,941 | 45 | - | 6,986 | - | - | 6,986 |
| 建物 | 354,041 | 3,987 | 1,430 | 356,598 | 221,962 | 5,719 | 134,636 |
| 工作物 | 58,798 | 1,752 | 618 | 59,932 | 38,382 | 1,524 | 21,550 |
| 船舶 | 1,067 | - | 0 | 1,067 | 656 | 52 | 410 |
| 浮標等 | 35 | - | - | 35 | 25 | 1 | 10 |
| 航空機 | 490 | - | - | 490 | 490 | - | 0 |
| その他 | - | - | - | - | - | - | - |
| 建設仮勘定 | 29 | - | 29 | - | - | - | - |
| インフラ資産 | 1,521,464 | 27,827 | 2,283 | 1,547,008 | 764,136 | 27,394 | 782,872 |
| 土地 | 72,504 | 4,919 | 164 | 77,259 | - | - | 77,259 |
| 建物 | 5,852 | - | - | 5,852 | 4,263 | 108 | 1,589 |
| 工作物 | 1,440,910 | 17,175 | 81 | 1,458,005 | 759,873 | 27,286 | 698,132 |
| その他 | - | - | - | - | - | - | - |
| 建設仮勘定 | 2,197 | 5,733 | 2,037 | 5,893 | - | - | 5,893 |
| 物品 | 28,462 | 836 | 745 | 28,553 | 16,877 | 290 | 11,675 |
| 合計 | 2,129,986 | 34,587 | 5,458 | 2,159,116 | 1,042,527 | 34,980 | 1,116,588 |

② 有形固定資産の行政目的別明細

(単位:百万円)

| 区分 | 生活インフラ・ 国土保全 | 教育 | 福祉 | 環境衛生 | 産業振興 | 警察 | 総務 | 合計 |
|--------|-----------------|---------|-------|-------|--------|--------|--------|-----------|
| 事業用資産 | 30,193 | 117,796 | 9,726 | 3,605 | 49,148 | 38,466 | 73,108 | 322,041 |
| 土地 | 12,448 | 77,719 | 5,504 | 1,503 | 12,367 | 14,398 | 34,509 | 158,448 |
| 立木竹 | 0 | - | - | - | 6,986 | - | - | 6,986 |
| 建物 | 17,002 | 37,598 | 4,177 | 2,102 | 14,863 | 20,680 | 38,216 | 134,636 |
| 工作物 | 743 | 2,470 | 44 | 0 | 14,521 | 3,388 | 384 | 21,550 |
| 船舶 | - | - | - | - | 410 | - | - | 410 |
| 浮標等 | - | 9 | - | - | 1 | 0 | - | 10 |
| 航空機 | - | - | - | - | - | - | 0 | 0 |
| その他 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 建設仮勘定 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| インフラ資産 | 782,259 | - | - | - | 613 | - | - | 782,872 |
| 土地 | 76,646 | - | - | - | 613 | - | - | 77,259 |
| 建物 | 1,589 | - | - | - | - | - | - | 1,589 |
| 工作物 | 698,131 | - | - | - | 0 | - | - | 698,132 |
| その他 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 建設仮勘定 | 5,893 | - | - | - | - | - | - | 5,893 |
| 物品 | 190 | 7,215 | 198 | 92 | 1,969 | 381 | 1,630 | 11,675 |
| 合計 | 812,642 | 125,010 | 9,924 | 3,697 | 51,730 | 38,847 | 74,738 | 1,116,588 |

③投資及び出資金の明細

市場価格のあるもの

(単位:百万円)

| 銘柄名 | 株数・口数など (単位:株) | 時価単価 (単位:円) | 貸借対照表計上 額 (A) × (B) | 取得単価 (単位:円) | 取得原価 (A) × (D) | 評価差額 (C) - (E) | (参考)財産に関する 調書記載額 |
|-------------------|-------------------|----------------|---------------------------|----------------|-------------------|-------------------|---------------------|
| (株)みずほフィナンシャルグループ | 395,340 | 191 | 76 | 48 | 19 | 57 | 19 |
| (株)サイバーリンクス | 84,117 | 1,226 | 103 | 787 | 66 | 37 | 66 |
| 合計 | - | - | 179 | - | 85 | 94 | 85 |

市場価格のないものうち連結対象団体(会計)に対するもの

(単位:百万円)

| 相手先名 | 出資金額 (貸借対照表計上 額) (A) | 資産 (B) | 負債 (C) | 純資産額 (B) - (C) | 資本金 (E) | 出資割合(%) (A)/(E) | 実質価額 (D) × (F) | 投資損失引当金 計上額 (H) | (参考)財産に関する 調書記載額 |
|---------------------|-------------------------------|-----------|-----------|-------------------|------------|--------------------|-------------------|-----------------------|---------------------|
| 公立大学法人和歌山県立医科大学 | 59,297 | 68,954 | 17,427 | 51,527 | 59,297 | 100.0% | 51,527 | - | 59,297 |
| 和歌山県土地開発公社 | 50 | 29,958 | 48,677 | -18,719 | 50 | 100.0% | - | 50 | 50 |
| 和歌山県住宅供給公社 | 5 | 183 | 532 | -348 | 5 | 100.0% | - | 5 | 5 |
| (一社)わかやま森林と緑の公社 | 10 | 15,561 | 15,488 | 74 | 15 | 67.5% | 50 | - | 10 |
| (一社)和歌山県私学振興基金協会 | 132 | 432 | 138 | 294 | 138 | 95.6% | 281 | - | 132 |
| (一財)和歌山県勤労福祉協会 | 3 | 37 | 29 | 9 | 4 | 85.7% | 7 | - | 3 |
| (公財)和歌山県救急医療情報センター | 5 | 60 | 51 | 10 | 5 | 100.0% | 10 | - | 5 |
| (公財)和歌山地域地域産業振興センター | 5 | 41 | 25 | 16 | 15 | 33.3% | 5 | - | 5 |
| (公財)和歌山県栽培漁業協会 | 931 | 1,425 | 59 | 1,366 | 1,197 | 77.8% | 1,062 | - | 931 |
| (公財)和歌山県民総合健診センター | 9 | 452 | 273 | 179 | 31 | 29.0% | 52 | - | 9 |
| (公財)わかやま移植医療推進協会 | 26 | 214 | 175 | 38 | 10 | 100.0% | 38 | - | 10 |
| (公財)和歌山県農業公社 | 1 | 328 | 167 | 161 | 1 | 100.0% | 161 | - | 1 |
| (公財)和歌山県国際交流協会 | 200 | 606 | 15 | 592 | 488 | 41.0% | 243 | - | 200 |
| (公財)わかやま産業振興センター | 709 | 932 | 17 | 915 | 895 | 79.2% | 724 | - | 709 |
| (公財)わかやま産業振興財団 | 157 | 417 | 16 | 401 | 310 | 50.6% | 203 | - | 157 |
| 南紀白浜空港ビル(株) | 321 | 328 | 1 | 327 | 321 | 100.0% | 327 | - | 321 |
| ウイングック(株) | 13 | 173 | 129 | 44 | 41 | 31.5% | 14 | - | 13 |
| 和歌山県信用保証協会 | 15 | 186 | 71 | 115 | 30 | 49.6% | 57 | - | 15 |
| 和歌山県信用保証協会 | 30 | 73 | 38 | 34 | 30 | 100.0% | 34 | - | 30 |
| 和歌山県信用保証協会 | 5 | 11,430 | 10,492 | 938 | 18 | 27.8% | 261 | - | 724 |
| 和歌山県信用保証協会 | 150 | 526 | 48 | 478 | 400 | 37.5% | 179 | - | 150 |
| 和歌山県信用保証協会 | 20 | 644 | 583 | 61 | 80 | 25.0% | 15 | - | 20 |
| 和歌山県信用保証協会 | 6,504 | 265,945 | 242,172 | 23,773 | 7,280 | 89.3% | 21,238 | - | 6,504 |
| 合計 | 68,607 | 398,964 | 336,624 | 62,340 | 70,716 | - | 76,516 | 55 | 69,326 |

市場価格のないものうち連結対象団体(会計)以外に対するもの

(単位:百万円)

| 相手先名 | 出資金額 (A) | 資産 (B) | 負債 (C) | 純資産額 (B)-(C) (D) | 資本金 (E) | 出資割合(%) (A)/(E) (F) | 実質価額 (D)×(F) (G) | 強制評価減 (H) | 貸借対照表計上額 (A)-(H) (I) | (参考)財産に関する 調書記載額 |
|--|-------------|------------|------------|------------------------|------------|---------------------------|------------------------|--------------|----------------------------|---------------------|
| 地方公共団体金融機構 | 62 | 24,755,829 | 24,488,401 | 267,428 | 16,602 | 0.4% | 999 | - | 62 | 62 |
| 大阪湾広域臨海環境整備センター (公財)都道府県センター(被災者生活 再建支援事業) | 4 | 42,777 | 28,454 | 14,322 | 137 | 3.0% | 436 | - | 4 | 4 |
| 学校法人自治医科大学 | 1,557 | 48,274 | 92 | 48,181 | 148,000 | 1.1% | 507 | 1,050 | 507 | 1,557 |
| (一社)和歌山県農産物加工研究所 | 198 | 185,753 | 24,906 | 160,848 | 12,306 | 1.6% | 2,588 | - | 198 | 198 |
| (公財)日本食肉格付協会 | 100 | 1,116 | 2 | 1,114 | 1,100 | 9.1% | 101 | - | 100 | 100 |
| 和歌山県農業信用基金協会 | 242 | 127,305 | 118,884 | 8,422 | 7,197 | 3.4% | 283 | - | 242 | 242 |
| (一社)家畜改良事業団 | 3 | 13,947 | 9,132 | 4,815 | 6,447 | 0.0% | 2 | - | 3 | 3 |
| (一社)日本養鶏協会 | 6 | 10,621 | 9,643 | 978 | 563 | 1.1% | 10 | - | 6 | 6 |
| 独立行政法人農林漁業信用基金 和歌山県漁業信用基金協会 | 68 | 291,660 | 59,743 | 231,918 | 184,021 | 0.0% | 85 | - | 68 | 68 |
| 全国遠洋沖合漁業信用基金協会 | 363 | 167,064 | 134,132 | 32,933 | 22,493 | 1.6% | 531 | - | 363 | 363 |
| (一財)和歌山県漁業相互共済会 | 103 | 38,581 | 26,685 | 11,896 | 8,713 | 1.2% | 140 | - | 103 | 103 |
| 日本下水道事業団 | 27 | 7,813 | 5,510 | 2,303 | 1,275 | 23.0% | 120 | - | 0 | 0 |
| (一社)和歌山県青果物基金協会 | 35 | 426 | 246 | 179 | 154 | 22.5% | 40 | - | 35 | 35 |
| (公財)都道府県センター | 725 | 56,852 | 31,155 | 25,697 | 34,628 | 2.1% | 538 | - | 725 | 725 |
| (一財)地方公務員安全衛生推進協会 | 32 | 5,294 | 30 | 5,264 | 5,188 | 0.6% | 32 | - | 32 | 32 |
| (一財)地域社会ライブラリー協会 | 20 | 2,427 | 48 | 2,379 | 2,330 | 0.9% | 20 | - | 20 | 20 |
| (一財)救急振興財団 | 26 | 22,854 | 287 | 22,566 | 2,000 | 1.3% | 293 | - | 26 | 26 |
| (一財)大阪湾ベイエリア開発推進機構 | 80 | 625 | 48 | 577 | 577 | 13.9% | 80 | - | 80 | 80 |
| (一財)社会経済研究所 | 100 | 797 | 2 | 795 | 700 | 14.3% | 114 | - | 100 | 100 |
| (一財)和歌山県文化振興財団 | 5 | 560 | 145 | 415 | 63 | 8.0% | 33 | - | 5 | 5 |
| (一財)地域創造 | 20 | 23,974 | 565 | 23,409 | 23,050 | 0.1% | 20 | - | 20 | 20 |
| 地方公共団体情報システム機構 | 2 | 33,844 | 28,837 | 5,008 | 134 | 1.5% | 75 | - | 2 | 2 |
| (一財)地域活性化センター | 5 | 4,345 | 148 | 4,197 | 2,746 | 0.2% | 8 | - | 5 | 5 |
| (一財)地域総合整備財団 | 150 | 11,677 | 46 | 11,631 | 10,750 | 1.4% | 162 | - | 150 | 150 |
| (一財)休暇村協会 | 10 | 24,326 | 10,539 | 13,787 | 490 | 2.0% | 281 | - | 10 | 10 |
| (一財)和歌山環境保全公社 | 20 | 4,384 | 91 | 4,293 | 100 | 20.0% | 859 | - | 20 | 20 |
| (公財)産業廃棄物処理事業振興財団 | 30 | 8,088 | 1,840 | 6,248 | 6,316 | 0.5% | 30 | - | 30 | 30 |
| (公財)国際エメックスセンター | 10 | 1,473 | 4 | 1,469 | 1,508 | 0.7% | 10 | - | 10 | 10 |
| (公財)あしたの日本を創る協会 | 4 | 2,447 | 15 | 2,433 | 2,425 | 0.2% | 4 | - | 4 | 4 |
| (一財)和歌山県老人クラブ連合会 | 5 | 141 | 19 | 121 | 110 | 4.6% | 6 | - | 5 | 5 |
| (一財)伝統的工芸品産業振興協会 | 6 | 1,027 | 154 | 873 | 873 | 0.7% | 6 | - | 6 | 6 |
| (一財)アジア太平洋観光交流センター | 1 | 129 | 5 | 124 | 135 | 0.7% | 1 | - | 1 | 1 |
| (公財)和歌山県緑化推進会 | 10 | 122 | 2 | 120 | 66 | 15.2% | 18 | - | 10 | 10 |
| (一財)建設業情報センター | 5 | 4,728 | 250 | 4,478 | 700 | 0.8% | 34 | - | 5 | 5 |
| (公財)リバーフロント研究所 | 3 | 1,942 | 308 | 1,635 | 542 | 0.5% | 8 | - | 3 | 3 |
| (一財)砂防フロントティア整備推進機構 | 3 | 4,137 | 1,533 | 2,605 | 400 | 0.6% | 16 | - | 3 | 3 |
| (公財)区画整理促進機構 | 10 | 2,644 | 29 | 2,615 | 3,512 | 0.3% | 7 | - | 10 | 10 |
| (一財)和歌山県建築住宅防災センター | 4 | 243 | 44 | 199 | 30 | 13.3% | 27 | - | 4 | 4 |

| | | | | | | | | | | |
|--------------------|--------|------------|------------|-----------|-----------|-------|--------|-------|--------|--------|
| (一財)高齢者住宅財団 | 5 | 1,632 | 440 | 1,193 | 275 | 1.8% | 22 | - | 5 | 5 |
| (一財)建築コスト管理システム研究所 | 1 | 1,783 | 216 | 1,567 | 334 | 0.3% | 5 | - | 1 | 1 |
| (一財)不動産適正取引推進機構 | 1 | 2,629 | 300 | 2,329 | 700 | 0.1% | 3 | - | 1 | 1 |
| (一財)みなと総合研究財団 | 1 | 1,675 | 47 | 1,627 | 595 | 0.2% | 3 | - | 1 | 1 |
| (一財)沿岸技術研究センター | 1 | 2,568 | 1,151 | 1,418 | 137 | 0.7% | 10 | - | 1 | 1 |
| (一財)港湾空港総合技術センター | 5 | 5,359 | 1,587 | 3,772 | 468 | 1.1% | 40 | - | 5 | 5 |
| (公財)和歌山県スポーツ振興財団 | 5 | 486 | 208 | 278 | 66 | 7.6% | 21 | - | 5 | 5 |
| (株)日本至くじシステム | 2 | 662 | 443 | 219 | 134 | 1.5% | 3 | - | 2 | 2 |
| 和歌山ロイヤルバレーキング(株) | 1 | 634 | 175 | 460 | 10 | 10.0% | 46 | - | 1 | 1 |
| (株)和歌山ステーションビルディング | 4 | 1,260 | 1,147 | 113 | 75 | 5.8% | 7 | - | 4 | 4 |
| 和歌山ターミナルビル(株) | 10 | 12,906 | 2,409 | 10,497 | 1,000 | 1.0% | 105 | - | 10 | 10 |
| 有田観光物産センター(株) | 10 | 314 | 29 | 285 | 50 | 20.0% | 57 | - | 10 | 10 |
| (株)テレビ和歌山 | 230 | 2,886 | 915 | 1,971 | 1,600 | 14.4% | 283 | - | 230 | 230 |
| 白浜開発(株) | 1 | 1,144 | 964 | 179 | 126 | 0.8% | 1 | - | 1 | 1 |
| 関西国際空港土地保有(株) | 12,541 | 1,465,360 | 797,478 | 667,882 | 814,990 | 1.5% | 10,277 | - | 12,541 | 12,541 |
| 大阪中小企業投資育成(株) | 10 | 61,422 | 5,832 | 55,590 | 6,822 | 0.1% | 81 | - | 10 | 10 |
| 合計 | 16,882 | 27,479,789 | 25,795,644 | 1,684,145 | 1,340,167 | - | 19,543 | 1,050 | 15,832 | 16,882 |

④基金の明細

(単位:百万円)

| 種類 | 現金預金 | 有価証券 | 土地 | その他 | 合計 (貸借対照表計上額) | (参考)財産に関する 調書記載額 |
|----------------|--------|------|----|-------|------------------|---------------------|
| 財政調整基金 | 4,094 | - | - | - | 4,094 | 4,094 |
| 県債管理基金 | 17,775 | - | - | - | 17,775 | 17,775 |
| 福祉対策等基金 | 8,394 | - | - | - | 8,394 | 8,394 |
| 地域振興基金 | 4,133 | - | - | - | 4,133 | 4,133 |
| 庁舎及び議会棟等整備基金 | 1,611 | - | - | - | 1,611 | 1,611 |
| 研究開発推進基金 | 294 | - | - | - | 294 | 294 |
| 自然保護基金 | 182 | - | - | - | 182 | 182 |
| 地域グリーンニューデール基金 | - | - | - | - | - | - |
| こどもの交通安全基金 | 17 | - | - | - | 17 | 17 |
| 消費者行政活性化基金 | - | - | - | - | - | - |
| 災害救助基金 | 335 | - | - | 143 | 478 | 335 |
| 愛の基金 | 97 | - | - | - | 97 | 97 |
| 介護保険財政安定化基金 | 1,450 | - | - | - | 1,450 | 1,450 |
| 子育て支援対策臨時特例基金 | 186 | - | - | - | 186 | 186 |
| 地域医療介護総合確保基金 | 4,507 | - | - | - | 4,507 | 4,507 |
| 地域医療再生臨時特例基金 | 15 | - | - | - | 15 | 15 |
| 国民健康保険広域化等支援基金 | 492 | - | - | - | 492 | 492 |
| 国民健康保険財政安定化基金 | 2,260 | - | - | - | 2,260 | 2,260 |
| 後期高齢者医療財政安定化基金 | 2,350 | - | - | - | 2,350 | 2,350 |
| 産業開発基金 | 5,269 | - | - | - | 5,269 | 5,269 |
| 企業立地促進資金貸付基金 | - | - | - | - | - | - |
| 中山間ふるさと水と土保全基金 | 1,081 | - | - | - | 1,081 | 1,081 |
| 森林整備担い手基金 | 746 | - | - | - | 746 | 746 |
| 森林整備地域活動支援基金 | 245 | - | - | - | 245 | 245 |
| 紀の国森づくり基金 | 388 | - | - | - | 388 | 388 |
| 森林整備加速化・林業再生基金 | - | - | - | - | - | - |
| ふるさと和歌山応援基金 | 74 | - | - | - | 74 | 74 |
| 青少年文庫基金 | 39 | - | - | - | 39 | 39 |
| 農業構造改革支援基金 | 518 | - | - | - | 518 | 518 |
| 土地開発基金 | 16,747 | - | - | 1,102 | 17,850 | 17,850 |
| 地域環境保全基金 | 1,335 | - | - | - | 1,335 | 1,335 |
| 合計 | 74,634 | - | - | 1,245 | 75,879 | 75,736 |

⑤貸付金の明細

(単位:百万円)

| 相手先名または種別 | 長期貸付金 | | 短期貸付金 | | (参考)貸付金計 |
|---------------------------|----------|------------|----------|------------|----------|
| | 貸借対照表計上額 | 徴収不能引当金計上額 | 貸借対照表計上額 | 徴収不能引当金計上額 | |
| 市町村振興資金貸付金 | 5,272 | - | 687 | - | 5,959 |
| コスモパーク加太推進事業貸付金 | 11,675 | - | 41 | - | 11,717 |
| 土地開発公社用地取得資金貸付金 | 1,403 | - | 16 | - | 1,419 |
| 関西国際空港(株)貸付金 | 1,054 | - | 46 | - | 1,101 |
| 同和对策住宅新築資金貸付金 | 30 | - | 22 | - | 52 |
| 同和对策宅地取得資金貸付金 | 16 | - | 12 | - | 28 |
| 災害援護資金貸付金 | 11 | - | - | - | 11 |
| 母子寡婦福祉対策資金貸付金 | - | - | 0 | - | 0 |
| 母子父子寡婦福祉資金貸付金 | 874 | - | 126 | - | 1,000 |
| 和歌山県介護保険財政安定化基金貸付金 | 33 | - | 17 | - | 50 |
| 看護職員修学資金貸付金 | 158 | - | - | - | 158 |
| 医師確保修学資金貸付金 | 739 | - | 12 | - | 751 |
| 産科医確保研修資金及び研究資金貸付金 | 8 | - | - | - | 8 |
| 公立大学法人和歌山県立医科大学貸付金 | 4,516 | - | 1,592 | - | 6,108 |
| 中小企業振興資金貸付金(高度化資金) | 476 | - | 90 | - | 567 |
| 地域中小企業応援ファンド融資事業貸付金 | 6,600 | - | - | - | 6,600 |
| 農商工連携型地域中小企業応援ファンド融資事業貸付金 | 1,700 | - | - | - | 1,700 |
| 和歌山県企業立地促進資金貸付金 | 22 | - | 10 | - | 31 |
| 紀の川用水土地改良区運営資金貸付金 | 725 | - | - | - | 725 |
| 農業改良資金貸付金 | 8 | - | 0 | - | 9 |
| 就農支援資金貸付金 | 140 | - | 7 | - | 147 |
| 就農安定資金貸付金 | 1 | - | 1 | - | 3 |
| 林業改善資金貸付金 | - | - | 5 | - | 5 |
| (一社)わかやま森林と緑の公社貸付金 | 9,751 | - | - | - | 9,751 |
| 沿岸漁業改善資金貸付金 | 22 | - | 5 | - | 27 |
| 住宅供給公社用地取得貸付金 | 420 | - | - | - | 420 |
| 高等学校定時制及び通信制課程修学奨励金 | 1 | - | 0 | - | 2 |
| 進学奨励金等資金貸付金 | 342 | - | 75 | - | 417 |
| 修学奨励金貸付金 | 1,442 | - | 250 | - | 1,692 |
| 合計 | 47,439 | - | 3,015 | - | 50,455 |

⑥長期延滞債権の明細 (単位:百万円)

| 相手先名または種別 | 貸借対照表計上額 | 徴収不能引当金計上額 |
|--------------------|----------|------------|
| 【貸付金】 | | |
| 母子父子寡婦福祉資金貸付金 | 27 | - |
| 中小企業振興資金貸付金(高度化資金) | 8,355 | - |
| 中小企業振興資金貸付金(近代化資金) | 27 | - |
| 農業改良資金貸付金 | 2 | - |
| 林業改善資金貸付金 | 10 | - |
| 沿岸漁業改善資金貸付金 | 11 | - |
| 進学奨励金等資金貸付金 | 792 | - |
| 修学奨励金貸付金 | 68 | - |
| 土地整理組合貸付金 | 89 | - |
| その他 | 24 | - |
| 小計 | 9,405 | - |
| 【未収金】 | | |
| 県税 | 1,479 | 102 |
| 県営住宅使用料及び駐車場使用料 | 76 | 7 |
| 行政代執行費用 | 1,113 | - |
| 児童福祉施設負担金 | 19 | - |
| 生活保護費返還金 | 34 | - |
| その他 | 121 | - |
| 小計 | 2,841 | 110 |
| 合計 | 12,246 | 110 |

⑦未収金の明細 (単位:百万円)

| 相手先名または種別 | 貸借対照表計上額 | 徴収不能引当金計上額 |
|--------------------|----------|------------|
| 【貸付金】 | | |
| 母子父子寡婦福祉資金貸付金 | 3 | - |
| 中小企業振興資金貸付金(高度化資金) | 18 | - |
| 林業改善資金貸付金 | 5 | - |
| 進学奨励金等貸付金 | 32 | - |
| 修学奨励金貸付金 | 25 | - |
| その他 | 0 | - |
| 小計 | 83 | - |
| 【未収金】 | | |
| 県税 | 350 | 24 |
| 県営住宅使用料及び駐車場使用料 | 36 | 3 |
| 児童福祉施設負担金 | 4 | - |
| 生活保護費返還金 | 16 | - |
| その他 | 3 | - |
| 小計 | 409 | 28 |
| 合計 | 492 | 28 |

(2) 負債項目の明細

① 地方債(借入先別)の明細

(単位:百万円)

| 種類 | 地方債残高 | うち1年内償還予定 | | 政府資金 | 地方公共団体 金融機関 | 市中銀行 | その他の 金融機関 | 市場公募債 | | | その他 | |
|---------|-----------|-----------|-----------|---------|----------------|---------|--------------|---------|---------|---------|-----|--------|
| | | うち1年内償還予定 | うち1年内償還予定 | | | | | うち共同発行債 | うち住民公募債 | うち住民公募債 | | |
| 【通常分】 | | | | | | | | | | | | |
| 一般公共事業 | 335,672 | 22,462 | | 184,222 | 26,525 | 91,114 | 33,812 | - | - | - | - | - |
| 公営住宅建設 | 5,384 | 427 | | 3,105 | 805 | 1,285 | 189 | - | - | - | - | - |
| 災害復旧 | 17,675 | 2,306 | | 16,476 | - | - | 1,199 | - | - | - | - | - |
| 教育・福祉施設 | 13,353 | 526 | | 522 | - | 8,534 | 4,297 | - | - | - | - | - |
| 一般単独事業 | 168,896 | 9,297 | | 1,012 | 3,861 | 144,058 | 19,965 | - | - | - | - | - |
| その他 | 72,723 | 11,181 | | 29,972 | 762 | 21,125 | 925 | - | - | - | - | 19,939 |
| 【特別分】 | | | | | | | | | | | | |
| 臨時財政対策債 | 373,321 | 18,524 | | 45,886 | 11,986 | 282,375 | 33,074 | - | - | - | - | - |
| 減税補てん債 | 6,488 | 693 | | - | - | 6,488 | - | - | - | - | - | - |
| 退職手当債 | 29,231 | 2,146 | | - | - | 29,231 | - | - | - | - | - | - |
| その他 | 1,627 | 113 | | - | - | 1,624 | 3 | - | - | - | - | - |
| 合計 | 1,024,370 | 67,675 | | 281,195 | 43,939 | 585,834 | 93,463 | - | - | - | - | 19,939 |

②地方債（利率別）の明細 (単位：百万円)

| 地方債残高 | 利率別 | | | | | | (参考) 加重平均 利率 | |
|-----------|---------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|--------------------|--------|
| | 1.5%以下 | 1.5%超 2.0%以下 | 2.0%超 2.5%以下 | 2.5%超 3.0%以下 | 3.0%超 3.5%以下 | 3.5%超 4.0%以下 | | 4.0%超 |
| 1,024,370 | 875,849 | 133,630 | 8,196 | 3,622 | 1,719 | 1,062 | 291 | 0.789% |

③地方債（返済期間別）の明細 (単位：百万円)

| 地方債残高 | 返済期間別 | | | | | | | | |
|-----------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|---------------|---------------|--------|
| | 1年以内 | 1年超 2年以内 | 2年超 3年以内 | 3年超 4年以内 | 4年超 5年以内 | 5年超 10年以内 | 10年超 15年以内 | 15年超 20年以内 | 20年超 |
| 1,024,370 | 67,675 | 114,389 | 100,534 | 90,264 | 91,626 | 402,113 | 98,155 | 22,357 | 37,257 |

④特定の契約条項が付された地方債の概要 (単位：百万円)

| 特定の契約条項が 付された地方債残高 | 契約条項の概要 |
|-----------------------|---------|
| 該当なし | |

⑤引当金の明細

(単位:百万円)

| 区分 | 前年度末残高 | 本年度増加額 | 本年度減少額 | | 本年度末残高 |
|----------|---------|--------|--------|-----|---------|
| | | | 目的使用 | その他 | |
| 投資損失引当金 | 55 | - | - | 0 | 55 |
| 徴収不能引当金 | 170 | 111 | 97 | 45 | 137 |
| 退職手当引当金 | 114,775 | 9,572 | 13,421 | - | 110,926 |
| 損失補償等引当金 | 25,792 | - | 234 | - | 25,558 |
| 賞与等引当金 | 8,076 | 8,163 | 8,076 | - | 8,163 |
| 合計 | 148,868 | 17,846 | 21,829 | 46 | 144,839 |

2. 行政コスト計算書の内容に関する明細
 (1) 補助金等の明細

(単位: 百万円)

| 区分 | 名称 | 相手先 | 金額 | 支出目的 |
|------------------------------|--------------|-----|---------|--------------------|
| 他団体への公共施設等整備補助金等 (所有外資産分) | 国営事業等負担金 | 国 | 951 | 国営土地改良事業に係る県負担分 |
| | 直轄道路事業負担金 | 国 | 5,042 | 国の直轄道路事業に係る県負担分 |
| | 直轄河川関係事業負担金 | 国 | 1,166 | 国の直轄治水事業に係る県負担分 |
| | 直轄砂防等事業負担金 | 国 | 475 | 国の直轄砂防事業に係る県負担分 |
| | 直轄港湾・海岸事業負担金 | 国 | 1,323 | 国の直轄港湾・海岸事業に係る県負担分 |
| | 計 | | 8,956 | |
| その他の補助金等 | その他 | | 93,439 | |
| | 計 | | 93,439 | |
| 合計 | | | 102,395 | |

3. 純資産変動計算書の内容に関する明細

(1) 財源の明細

| 会計 | 区分 | 財源の内容 | 金額 |
|--------|---------|-------------|---------|
| 一般会計 | 税収等 | 県税 | 86,386 |
| | | 地方譲与税 | 15,349 |
| | | 地方特例交付金 | 373 |
| | | 地方交付税 | 172,473 |
| | | 交通安全対策特別交付金 | 235 |
| | | 分担金及び負担金 | 1,392 |
| | | 寄附金 | 66 |
| | | 繰入金 | 154 |
| | | 利子割精算金収入 | 0 |
| | | 小計 | 278,428 |
| | | 特別会計 | 税収等 |
| 資本的補助金 | 15,617 | | |
| 計 | | | |
| 国庫支出金 | 57,670 | | |
| 経常的補助金 | 57,670 | | |
| 計 | | | |
| 小計 | 73,287 | | |
| 合計 | 351,715 | | |
| 繰入金 | 1,278 | | |
| 合計 | 1,278 | | |
| 合計 | 352,993 | | |

4. 資金収支計算書の内容に関する明細

(1) 資金の明細

(単位:百万円)

| 種類 | 本年度末残高 |
|-------|--------|
| 現金 | 13,717 |
| 歳計外現金 | 2,749 |
| 合計 | 16,465 |

3. 全体財務書類

全体貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

(単位:百万円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|---------------|-------------|----------------|-------------|
| 【資産の部】 | | 【負債の部】 | |
| 固定資産 | 1,335,869 ※ | 固定負債 | 1,107,977 |
| 有形固定資産 | 1,136,955 | 地方債等 | 966,906 |
| 事業用資産 | 330,852 | 長期未払金 | 3,047 |
| 土地 | 158,475 | 退職手当引当金 | 111,159 |
| 立木竹 | 6,986 | 損失補償等引当金 | 25,558 |
| 建物 | 374,034 | その他 | 1,307 |
| 建物減価償却累計額 | △ 230,899 | 流動負債 | 80,092 ※ |
| 工作物 | 60,551 | 1年内償還予定地方債等 | 68,271 |
| 工作物減価償却累計額 | △ 38,716 | 未払金 | 768 |
| 船舶 | 1,067 | 未払費用 | - |
| 船舶減価償却累計額 | △ 656 | 前受金 | 9 |
| 浮標等 | 35 | 前受収益 | - |
| 浮標等減価償却累計額 | △ 25 | 賞与等引当金 | 8,281 |
| 航空機 | 490 | 預り金 | 2,749 |
| 航空機減価償却累計額 | △ 490 | その他 | 13 |
| その他 | - | 負債合計 | 1,188,068 ※ |
| その他減価償却累計額 | - | 【純資産の部】 | |
| 建設仮勘定 | - | 固定資産等形成分 | 1,360,754 |
| インフラ資産 | 793,490 | 余剰分(不足分) | △ 1,161,903 |
| 土地 | 84,863 | | |
| 建物 | 6,312 | | |
| 建物減価償却累計額 | △ 4,530 | | |
| 工作物 | 1,464,948 | | |
| 工作物減価償却累計額 | △ 764,187 | | |
| その他 | - | | |
| その他減価償却累計額 | - | | |
| 建設仮勘定 | 6,084 | | |
| 物品 | 31,088 | | |
| 物品減価償却累計額 | △ 18,475 | | |
| 無形固定資産 | 340 ※ | | |
| ソフトウェア | 339 | | |
| その他 | 2 | | |
| 投資その他の資産 | 198,574 | | |
| 投資及び出資金 | 84,619 ※ | | |
| 有価証券 | 13,158 | | |
| 出資金 | 71,460 | | |
| その他 | - | | |
| 投資損失引当金 | △ 55 | | |
| 長期延滞債権 | 12,483 | | |
| 長期貸付金 | 47,439 | | |
| 基金 | 54,199 | | |
| 減債基金 | - | | |
| その他 | 54,199 | | |
| その他 | - | | |
| 徴収不能引当金 | △ 110 | | |
| 流動資産 | 51,049 | | |
| 現金預金 | 20,435 | | |
| 未収金 | 944 | | |
| 短期貸付金 | 3,015 | | |
| 基金 | 21,869 | | |
| 財政調整基金 | 4,094 | | |
| 減債基金 | 17,775 | | |
| 棚卸資産 | 4,156 | | |
| その他 | 672 | | |
| 徴収不能引当金 | △ 42 | | |
| 繰延資産 | - | | |
| 資産合計 | 1,386,918 | 純資産合計 | 198,850 |
| | | 負債及び純資産合計 | 1,386,918 |

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

全体行政コスト計算書

自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

(単位:百万円)

| 科目 | 金額 |
|-------------|---------|
| 経常費用 | 381,968 |
| 業務費用 | 264,270 |
| 人件費 | 139,338 |
| 職員給与費 | 118,320 |
| 賞与等引当金繰入額 | 8,281 |
| 退職手当引当金繰入額 | 9,608 |
| その他 | 3,129 |
| 物件費等 | 102,399 |
| 物件費 | 33,016 |
| 維持補修費 | 33,187 |
| 減価償却費 | 35,815 |
| その他 | 381 |
| その他の業務費用 | 22,533 |
| 支払利息 | 9,165 |
| 徴収不能引当金繰入額 | 111 |
| その他 | 13,257 |
| 移転費用 | 117,698 |
| 補助金等 | 102,245 |
| 社会保障給付 | 11,074 |
| 他会計への繰出金 | 872 |
| その他 | 3,507 |
| 経常収益 | 31,214 |
| 使用料及び手数料 | 8,459 |
| その他 | 22,755 |
| 純経常行政コスト | 350,754 |
| 臨時損失 | 5,310 ※ |
| 災害復旧事業費 | 3,474 |
| 資産除売却損 | 1,819 |
| 投資損失引当金繰入額 | - |
| 損失補償等引当金繰入額 | - |
| その他 | 16 |
| 臨時利益 | 197 |
| 資産売却益 | 197 |
| その他 | - |
| 純行政コスト | 355,867 |

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

全体純資産変動計算書

自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

(単位:百万円)

| 科目 | 合計 | 固定資産 等形成分 | 余剰分 (不足分) |
|----------------|-----------|--------------|--------------|
| 前年度末純資産残高 | 200,954 ※ | 1,368,277 | △ 1,167,322 |
| 純行政コスト(△) | △ 355,867 | | △ 355,867 |
| 財源 | 352,894 | | 352,894 |
| 税収等 | 279,367 | | 279,367 |
| 国県等補助金 | 73,527 | | 73,527 |
| 本年度差額 | △ 2,973 | | △ 2,973 |
| 固定資産等の変動(内部変動) | | △ 6,892 ※ | 6,892 ※ |
| 有形固定資産等の増加 | | 31,422 | △ 31,422 |
| 有形固定資産等の減少 | | △ 39,153 | 39,153 |
| 貸付金・基金等の増加 | | 69,904 | △ 69,904 |
| 貸付金・基金等の減少 | | △ 69,064 | 69,064 |
| 資産評価差額 | △ 145 | △ 145 | |
| 無償所管換等 | 973 | 973 | |
| その他 | 41 | △ 1,459 | 1,500 |
| 本年度純資産変動額 | △ 2,104 | △ 7,523 | 5,419 |
| 本年度末純資産残高 | 198,850 ※ | 1,360,754 | △ 1,161,903 |

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

全体資金収支計算書

自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

(単位:百万円)

| 科目 | 金額 |
|--------------------|-----------------|
| 【業務活動収支】 | |
| 業務支出 | 389,178 ※ |
| 業務費用支出 | 261,629 ※ |
| 人件費支出 | 143,101 |
| 物件費等支出 | 67,698 |
| 支払利息支出 | 9,648 |
| その他の支出 | 41,183 |
| 移転費用支出 | 127,549 ※ |
| 補助金等支出 | 102,219 |
| 社会保障給付支出 | 11,074 |
| 他会計への繰出支出 | 722 |
| その他の支出 | 13,535 |
| 業務収入 | 405,131 |
| 税収等収入 | 317,044 |
| 国県等補助金収入 | 55,783 |
| 使用料及び手数料収入 | 9,016 |
| その他の収入 | 23,288 |
| 臨時支出 | 3,879 |
| 災害復旧事業費支出 | 3,474 |
| その他の支出 | 405 |
| 臨時収入 | 2,044 |
| 業務活動収支 | 14,118 |
| 【投資活動収支】 | |
| 投資活動支出 | 96,377 |
| 公共施設等整備費支出 | 30,750 |
| 基金積立金支出 | 7,070 |
| 投資及び出資金支出 | - |
| 貸付金支出 | 58,557 |
| その他の支出 | - |
| 投資活動収入 | 80,930 ※ |
| 国県等補助金収入 | 15,460 |
| 基金取崩収入 | 5,803 |
| 貸付金元金回収収入 | 59,247 |
| 資産売却収入 | 418 |
| その他の収入 | 1 |
| 投資活動収支 | △ 15,447 |
| 【財務活動収支】 | |
| 財務活動支出 | 112,786 |
| 地方債償還支出 | 112,782 |
| その他の支出 | 4 |
| 財務活動収入 | 115,518 |
| 地方債発行収入 | 115,488 |
| その他の収入 | 30 |
| 財務活動収支 | 2,732 |
| 本年度資金収支額 | 1,403 |
| 前年度末資金残高 | 16,284 |
| 本年度末資金残高 | 17,687 |
| 前年度末歳計外現金残高 | 2,792 |
| 本年度歳計外現金増減額 | △ 43 |
| 本年度末歳計外現金残高 | 2,749 |
| 本年度末現金預金残高 | 20,435 ※ |

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

全体財務書類 注記

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

- ① 有形固定資産……………取得原価
ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。
 - ア 昭和 59 年度以前に取得したもの……………再調達原価
 - イ 昭和 60 年度以後に取得したもの
取得原価が判明しているもの……………取得原価
取得原価が不明なもの……………再調達原価
 - ② 無形固定資産……………取得原価
ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。
 - 取得原価が判明しているもの……………取得原価
 - 取得原価が不明なもの……………再調達原価
- なお、地方公営企業会計においては、原則、取得原価としています。

(2) 有価証券等の評価基準及び評価方法

- ① 有価証券
 - ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格
 - イ 市場価格のないもの……………取得原価
- ② 出資金……………出資金額

(3) 有形固定資産等の減価償却の方法

定額法によっています。

(4) 引当金の計上基準及び算定方法

- ① 投資損失引当金
市場価格のない投資及び出資金のうち、連結対象団体（会計）に対するものについて、実質価額が著しく低下した場合（出資金の価値の低下割合が 30%以上）における実質価額と取得価額との差額を計上しています。
- ② 徴収不能引当金
過去 5 年間の平均不納欠損率（過去 5 年間の不納欠損額／過去 5 年間の不納欠損決定前年度末債権残高）により、徴収不能見込額を計上しています。
- ③ 退職手当引当金
期末自己都合要支給額を計上しています。
- ④ 損失補償等引当金

履行すべき額が確定していない損失補償債務等のうち、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する将来負担比率の算定に含めた将来負担額を計上していません。

⑤ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当について、それぞれ本会計年度の期間(12月～3月の4か月分)に対応する部分を計上しています。

(5) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

ア 所有権移転ファイナンス・リース取引(リース期間が1年以内のリース取引及びリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。)

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

イ ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(6) 全体資金収支計算書における資金の範囲

現金及び現金同等物を計上しています。

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

(7) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

① 物品の計上基準

物品については、和歌山県物品管理等事務規程に定める重要物品の場合に資産として計上しています。

2 重要な会計方針の変更等

重要な会計方針の変更はありません。

3 重要な後発事象

該当ありません。

4 追加情報

(1) 連結対象団体（会計）

| 会計名 | 区分 | 連結の方法 | 比例連結割合 |
|------------------|----------|-------|--------|
| 県立こころの医療センター事業会計 | 地方公営企業会計 | 全部連結 | — |
| 工業用水道事業会計 | 地方公営企業会計 | 全部連結 | — |
| 土地造成事業会計 | 地方公営企業会計 | 全部連結 | — |
| 県営港湾施設管理特別会計 | 地方公営企業会計 | 全部連結 | — |
| 県営競輪事業特別会計 | 地方公営企業会計 | 全部連結 | — |

連結の方法は以下のとおりです。

① 地方公営企業会計は、すべて全部連結の対象としています。

ただし、地方公営企業法の財務規定等が適用されていない地方公営企業会計のうち、当該規定等の適用に向けた作業に着手しているもの（流域下水道事業特別会計）については、連結対象団体（会計）の対象外としています。したがって、一般会計等における他会計への操出金等が内部相殺されない場合があります。

(2) 出納整理期間

地方自治法第 235 条の 5 に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

なお、出納整理期間を設けていない団体（会計）と出納整理期間を設けている団体（会計）との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したものとして整理しています。

(3) 表示単位未満の取扱い

百万円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

全体附属明細書

1. 貸借対照表の内容に関する明細

(1) 資産項目の明細

①有形固定資産の明細

(単位:百万円)

| 区分 | 前年度末残高 (A) | 本年度増加額 (B) | 本年度減少額 (C) | 本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D) | 本年度末 減価償却累計額 (E) | 本年度償却額 (F) | 差引本年度末残高 (D)-(E) (G) |
|--------|---------------|---------------|---------------|------------------------------|------------------------|---------------|----------------------------|
| 事業用資産 | 598,045 | 6,022 | 2,430 | 601,638 | 270,785 | 7,670 | 330,852 |
| 土地 | 158,687 | 140 | 353 | 158,475 | - | - | 158,475 |
| 立木竹 | 6,941 | 45 | - | 6,986 | - | - | 6,986 |
| 建物 | 371,379 | 4,085 | 1,430 | 374,034 | 230,899 | 6,078 | 143,135 |
| 工作物 | 59,417 | 1,752 | 618 | 60,551 | 38,716 | 1,539 | 21,835 |
| 船舶 | 1,067 | - | 0 | 1,067 | 656 | 52 | 410 |
| 浮標等 | 35 | - | - | 35 | 25 | 1 | 10 |
| 航空機 | 490 | - | - | 490 | 490 | - | 0 |
| その他 | - | - | - | - | - | - | - |
| 建設仮勘定 | 29 | - | 29 | - | - | - | - |
| インフラ資産 | 1,536,666 | 28,597 | 3,055 | 1,562,207 | 768,717 | 27,489 | 793,490 |
| 土地 | 80,348 | 4,919 | 404 | 84,863 | - | - | 84,863 |
| 建物 | 6,338 | - | 26 | 6,312 | 4,530 | 116 | 1,782 |
| 工作物 | 1,447,660 | 17,374 | 86 | 1,464,948 | 764,187 | 27,373 | 700,761 |
| その他 | - | - | - | - | - | - | - |
| 建設仮勘定 | 2,319 | 6,304 | 2,540 | 6,084 | - | - | 6,084 |
| 物品 | 31,339 | 1,262 | 1,514 | 31,088 | 18,475 | 390 | 12,612 |
| 合計 | 2,166,050 | 35,881 | 6,999 | 2,194,933 | 1,057,978 | 35,549 | 1,136,955 |

②有形固定資産の行政目的別明細

(単位:百万円)

| 区分 | 生活インフラ・ 国土保全 | 教育 | 福祉 | 環境衛生 | 産業振興 | 警察 | 総務 | 合計 |
|--------|-----------------|---------|--------|-------|--------|--------|--------|-----------|
| 事業用資産 | 30,193 | 117,796 | 13,008 | 3,605 | 54,677 | 38,466 | 73,108 | 330,852 |
| 土地 | 12,448 | 77,719 | 5,531 | 1,503 | 12,367 | 14,398 | 34,509 | 158,475 |
| 立木竹 | 0 | - | - | - | 6,986 | - | - | 6,986 |
| 建物 | 17,002 | 37,598 | 7,147 | 2,102 | 20,392 | 20,680 | 38,216 | 143,135 |
| 工作物 | 743 | 2,470 | 330 | 0 | 14,521 | 3,388 | 384 | 21,835 |
| 船舶 | - | - | - | - | 410 | - | - | 410 |
| 浮標等 | - | 9 | - | - | 1 | 0 | - | 10 |
| 航空機 | - | - | - | - | - | - | 0 | 0 |
| その他 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 建設仮勘定 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| インフラ資産 | 789,761 | - | - | - | 3,729 | - | - | 793,490 |
| 土地 | 83,919 | - | - | - | 945 | - | - | 84,863 |
| 建物 | 1,667 | - | - | - | 114 | - | - | 1,782 |
| 工作物 | 698,263 | - | - | - | 2,479 | - | - | 700,741 |
| その他 | 20 | - | - | - | - | - | - | 20 |
| 建設仮勘定 | 5,893 | - | - | - | 191 | - | - | 6,084 |
| 物品 | 190 | 7,215 | 431 | 92 | 2,673 | 381 | 1,630 | 12,612 |
| 合計 | 820,144 | 125,010 | 13,439 | 3,697 | 61,079 | 38,847 | 74,738 | 1,136,955 |

4. 連結財務書類

連結貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

(単位:百万円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|---------------|-------------|----------------|-------------|
| 【資産の部】 | | 【負債の部】 | |
| 固定資産 | 1,588,443 ※ | 固定負債 | 1,380,540 |
| 有形固定資産 | 1,226,665 ※ | 地方債等 | 1,024,448 |
| 事業用資産 | 415,028 | 長期未払金 | 3,092 |
| 土地 | 198,833 | 退職手当引当金 | 112,534 |
| 立木竹 | 22,338 | 損失補償等引当金 | - |
| 建物 | 427,578 | その他 | 240,466 |
| 建物減価償却累計額 | △ 256,528 | 流動負債 | 96,542 ※ |
| 工作物 | 61,374 | 1年内償還予定地方債等 | 70,250 |
| 工作物減価償却累計額 | △ 39,048 | 未払金 | 6,614 |
| 船舶 | 1,067 | 未払費用 | 44 |
| 船舶減価償却累計額 | △ 656 | 前受金 | 118 |
| 浮標等 | 35 | 前受収益 | 1 |
| 浮標等減価償却累計額 | △ 25 | 賞与等引当金 | 8,880 |
| 航空機 | 490 | 預り金 | 3,158 |
| 航空機減価償却累計額 | △ 490 | その他 | 7,478 |
| その他 | 36 | 負債合計 | 1,477,082 |
| その他減価償却累計額 | △ 30 | 【純資産の部】 | |
| 建設仮勘定 | 54 | 固定資産等形成分 | 1,613,333 |
| インフラ資産 | 793,490 | 余剰分(不足分) | △ 1,400,423 |
| 土地 | 84,863 | 他団体出資等分 | 5,069 |
| 建物 | 6,312 | | |
| 建物減価償却累計額 | △ 4,530 | | |
| 工作物 | 1,464,948 | | |
| 工作物減価償却累計額 | △ 764,187 | | |
| その他 | - | | |
| その他減価償却累計額 | - | | |
| 建設仮勘定 | 6,084 | | |
| 物品 | 48,019 | | |
| 物品減価償却累計額 | △ 29,871 | | |
| 無形固定資産 | 1,516 | | |
| ソフトウェア | 1,385 | | |
| その他 | 131 | | |
| 投資その他の資産 | 360,262 | | |
| 投資及び出資金 | 252,464 ※ | | |
| 有価証券 | 13,388 | | |
| 出資金 | 2,883 | | |
| その他 | 236,192 | | |
| 長期延滞債権 | 10,331 | | |
| 長期貸付金 | 28,610 | | |
| 基金 | 68,718 | | |
| 減債基金 | - | | |
| その他 | 68,718 | | |
| その他 | 349 | | |
| 徴収不能引当金 | △ 209 | | |
| 流動資産 | 106,617 ※ | | |
| 現金預金 | 42,210 | | |
| 未収金 | 7,741 | | |
| 短期貸付金 | 3,021 | | |
| 基金 | 21,869 | | |
| 財政調整基金 | 4,094 | | |
| 減債基金 | 17,775 | | |
| 棚卸資産 | 8,878 | | |
| その他 | 22,976 | | |
| 徴収不能引当金 | △ 77 | | |
| 繰延資産 | - | | |
| 資産合計 | 1,695,061 ※ | 純資産合計 | 217,979 ※ |
| | | 負債及び純資産合計 | 1,695,061 |

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

連結行政コスト計算書

自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

(単位:百万円)

| 科目 | 金額 |
|-------------|-----------|
| 経常費用 | 416,597 |
| 業務費用 | 304,411 ※ |
| 人件費 | 157,265 |
| 職員給与費 | 135,339 |
| 賞与等引当金繰入額 | 8,875 |
| 退職手当引当金繰入額 | 9,763 |
| その他 | 3,288 |
| 物件費等 | 122,826 ※ |
| 物件費 | 50,009 |
| 維持補修費 | 33,670 |
| 減価償却費 | 38,277 |
| その他 | 869 |
| その他の業務費用 | 24,320 |
| 支払利息 | 9,445 |
| 徴収不能引当金繰入額 | 115 |
| その他 | 14,760 |
| 移転費用 | 112,187 |
| 補助金等 | 96,619 |
| 社会保障給付 | 11,074 |
| 他会計への繰出金 | 872 |
| その他 | 3,622 |
| 経常収益 | 71,599 ※ |
| 使用料及び手数料 | 8,658 |
| その他 | 62,940 |
| 純経常行政コスト | 344,999 ※ |
| 臨時損失 | 9,873 ※ |
| 災害復旧事業費 | 3,474 |
| 資産除売却損 | 1,830 |
| 損失補償等引当金繰入額 | - |
| その他 | 4,568 |
| 臨時利益 | 4,615 ※ |
| 資産売却益 | 201 |
| その他 | 4,415 |
| 純行政コスト | 350,256 ※ |

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

連結純資産変動計算書

自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

(単位:百万円)

| 科目 | 合計 | 固定資産 等形成分 | 余剰分 (不足分) | 他団体出資等分 |
|----------------|-----------|--------------|--------------|---------|
| 前年度末純資産残高 | 220,704 | 1,657,140 | △ 1,441,539 | 5,103 |
| 純行政コスト(△) | △ 350,256 | | △ 349,807 | △ 449 |
| 財源 | 353,329 ※ | | 352,914 | 415 ※ |
| 税金等 | 284,475 ※ | | 284,456 | 20 |
| 国県等補助金 | 68,854 | | 68,458 | 396 |
| 本年度差額 | 3,073 | | 3,107 | △ 34 |
| 固定資産等の変動(内部変動) | | | | |
| 有形固定資産等の増加 | | | | |
| 有形固定資産等の減少 | | | | |
| 貸付金・基金等の増加 | | | | |
| 貸付金・基金等の減少 | | | | |
| 資産評価差額 | △ 125 | | | |
| 無償所管換等 | 973 | | | |
| 他団体出資等分の増加 | - | | | - |
| 他団体出資等分の減少 | - | | | - |
| その他 | △ 6,646 | | | |
| 本年度純資産変動額 | △ 2,724 ※ | △ 43,807 | 41,116 | △ 34 |
| 本年度末純資産残高 | 217,979 ※ | 1,613,333 | △ 1,400,423 | 5,069 |

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

連結財務書類 注記

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

- ① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

- ア 昭和 59 年度以前に取得したもの……………再調達原価

- イ 昭和 60 年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

- ② 無形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

なお、一部の連結対象団体においては、原則、取得原価としています。

(2) 有価証券等の評価基準及び評価方法

- ① 有価証券

- ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格

- イ 市場価格のないもの……………取得原価

- ② 出資金……………出資金額

(3) 有形固定資産等の減価償却の方法

定額法によっています。

ただし、一部の連結対象団体においては、定率法によっています。

(4) 引当金の計上基準及び算定方法

- ① 投資損失引当金

市場価格のない投資及び出資金のうち、連結対象団体（会計）に対するものについて、実質価額が著しく低下した場合（出資金の価値の低下割合が 30%以上）における実質価額と取得価額との差額を計上しています。

- ② 徴収不能引当金

過去 5 年間の平均不納欠損率（過去 5 年間の不納欠損額／過去 5 年間の不納欠損決定前年度末債権残高）により、徴収不能見込額を計上しています。

- ③ 退職手当引当金

期末自己都合要支給額を計上しています。

④ 損失補償等引当金

履行すべき額が確定していない損失補償債務等のうち、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する将来負担比率の算定に含めた将来負担額を計上していません。

⑤ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当について、それぞれ本会計年度の期間(12月～3月の4か月分)に対応する部分を計上しています。

(5) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

ア 所有権移転ファイナンス・リース取引(リース期間が1年以内のリース取引及びリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。)

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

イ ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(6) 連結資金収支計算書における資金の範囲

現金及び現金同等物を計上しています。

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

(7) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

① 物品の計上基準

物品については、和歌山県物品管理等事務規程に定める重要物品の場合に資産として計上しています。

2 重要な会計方針の変更等

重要な会計方針の変更はありません。

3 重要な後発事象

該当ありません。

4 追加情報

(1) 連結対象団体（会計）

| 会計名 | 区分 | 連結の方法 | 比例連結割合 |
|----------------------|----------|-------|--------|
| 県立こころの医療センター事業会計 | 地方公営企業会計 | 全部連結 | — |
| 工業用水道事業会計 | 地方公営企業会計 | 全部連結 | — |
| 土地造成事業会計 | 地方公営企業会計 | 全部連結 | — |
| 県営港湾施設管理特別会計 | 地方公営企業会計 | 全部連結 | — |
| 県営競輪事業特別会計 | 地方公営企業会計 | 全部連結 | — |
| 関西広域連合 | 広域連合 | 比例連結 | 3.6% |
| 公立大学法人和歌山県立医科大学 | 地方独立行政法人 | 全部連結 | — |
| 和歌山県土地開発公社 | 地方三公社 | 全部連結 | — |
| 和歌山県住宅供給公社 | 地方三公社 | 全部連結 | — |
| (一社) わかやま森林と緑の公社 | 第三セクター等 | 全部連結 | — |
| (一社) 和歌山県私学振興基金協会 | 第三セクター等 | 全部連結 | — |
| (一財) 和歌山県勤労福祉協会 | 第三セクター等 | 全部連結 | — |
| (公財) 和歌山県救急医療情報センター | 第三セクター等 | 全部連結 | — |
| (公財) 和歌山地域地場産業振興センター | 第三セクター等 | 比例連結 | 33.3% |
| (公財) 和歌山県栽培漁業協会 | 第三セクター等 | 全部連結 | — |
| (公財) 和歌山県民総合健診センター | 第三セクター等 | 比例連結 | 29.0% |
| (公財) 和歌山県文化財センター | 第三セクター等 | 全部連結 | — |
| (公財) わかやま移植医療推進協会 | 第三セクター等 | 全部連結 | — |
| (公財) 和歌山県農業公社 | 第三セクター等 | 全部連結 | — |
| (公財) 和歌山県国際交流協会 | 第三セクター等 | 全部連結 | — |
| (公財) 和歌山県暴力追放県民センター | 第三セクター等 | 全部連結 | — |
| (公社) 和歌山県青少年育成協会 | 第三セクター等 | 全部連結 | — |
| (公財) 和歌山県水上安全協会 | 第三セクター等 | 全部連結 | — |
| (公財) 和歌山県下水道公社 | 第三セクター等 | 全部連結 | — |
| (公社) 畜産協会わかやま | 第三セクター等 | 比例連結 | 49.6% |
| (公財) 和歌山県人権啓発センター | 第三セクター等 | 全部連結 | — |
| (公財) わかやま産業振興財団 | 第三セクター等 | 全部連結 | — |
| 南紀白浜空港ビル（株） | 第三セクター等 | 全部連結 | — |
| ウインナック（株） | 第三セクター等 | 比例連結 | 25.0% |
| 和歌山県信用保証協会 | 第三セクター等 | 全部連結 | — |

連結の方法は以下のとおりです。

- ① 地方公営企業会計は、すべて全部連結の対象としています。
ただし、地方公営企業法の財務規定等が適用されていない地方公営企業会計のうち、当該規定等の適用に向けた作業に着手しているもの（平成29年度までに着手かつ集中取組期間内に当該規定等を適用するものに限り。）については、連結対象団体（会計）の対象外としています。したがって、一般会計等における他会計への操出金等が内部相殺されない場合があります。
- ② 広域連合は、各構成員の経費負担割合等に基づき比例連結の対象としています。
- ③ 地方独立行政法人は、すべて全部連結の対象としています。
- ④ 地方三公社は、すべて全部連結の対象としています。
- ⑤ 第三セクター等は、出資割合等が50%を超える団体（出資割合等が50%以下であっても業務運営に実質的に主導的な立場を確保している団体を含みます。）は、全部連結の対象としています。また、いずれの地方公共団体にとっても全部連結の対象とならない第三セクター等については、出資割合等や活動実績等に応じて、比例連結の対象としています。ただし、出資割合が25%未満であって、損失補償を付している等の重要性がない場合は、比例連結の対象としていない場合があります。

（2）出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

なお、出納整理期間を設けていない団体（会計）と出納整理期間を設けている団体（会計）との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したものとして整理しています。

（3）表示単位未満の取扱い

百万円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

連結附属明細書

1. 貸借対照表の内容に関する明細

(1) 資産項目の明細

①有形固定資産の明細

| 区分 | (単位:百万円) | | | | | | 差引本年度末残高 (D)-(E) (G) |
|--------|---------------|---------------|---------------|------------------------|---------------|------------------------------|----------------------------|
| | 前年度末残高 (A) | 本年度増加額 (B) | 本年度減少額 (C) | 本年度末 減価償却累計額 (E) | 本年度償却額 (F) | 本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D) | |
| 事業用資産 | 707,963 | 6,885 | 3,027 | 296,793 | 9,160 | 415,028 | |
| 土地 | 199,017 | 173 | 356 | - | - | 198,833 | |
| 立木竹 | 22,213 | 125 | - | - | - | 22,338 | |
| 建物 | 424,805 | 4,450 | 1,662 | 256,544 | 7,515 | 171,050 | |
| 工作物 | 60,240 | 1,752 | 618 | 39,048 | 1,591 | 22,325 | |
| 船舶 | 1,067 | - | 0 | 656 | 52 | 410 | |
| 浮標等 | 35 | - | - | 35 | 1 | 10 | |
| 航空機 | 490 | - | - | 490 | - | 0 | |
| その他 | 36 | - | - | 36 | 1 | 6 | |
| 建設仮動定 | 61 | 384 | 390 | - | - | 54 | |
| インフラ資産 | 1,536,666 | 28,597 | 3,055 | 768,717 | 27,489 | 793,490 | |
| 土地 | 80,348 | 4,919 | 404 | 84,863 | - | 84,863 | |
| 建物 | 6,338 | - | 26 | 4,530 | 116 | 1,782 | |
| 工作物 | 1,447,660 | 17,374 | 86 | 764,187 | 27,373 | 700,761 | |
| その他 | - | - | - | - | - | - | |
| 建設仮動定 | 2,319 | 6,304 | 2,540 | - | - | 6,084 | |
| 物品 | 48,446 | 2,340 | 2,726 | 29,912 | 2,252 | 18,147 | |
| 合計 | 2,293,075 | 37,821 | 8,808 | 1,095,422 | 38,901 | 1,226,665 | |

②有形固定資産の行政目的別明細

| 区分 | (単位:百万円) | | | | | | | 合計 |
|--------|-----------------|---------|--------|-------|--------|--------|--------|-----------|
| | 生活インフラ・ 国土保全 | 教育 | 福祉 | 環境衛生 | 産業振興 | 警察 | 総務 | |
| 事業用資産 | 55,452 | 160,717 | 13,008 | 3,605 | 70,653 | 38,485 | 73,108 | 415,028 |
| 土地 | 37,443 | 92,716 | 5,531 | 1,503 | 12,729 | 14,403 | 34,509 | 198,833 |
| 立木竹 | 0 | - | - | - | 22,338 | - | - | 22,338 |
| 建物 | 17,265 | 64,979 | 7,147 | 2,102 | 20,647 | 20,694 | 38,216 | 171,050 |
| 工作物 | 744 | 2,958 | 330 | 0 | 14,521 | 3,388 | 384 | 22,325 |
| 船舶 | - | - | - | - | 410 | - | - | 410 |
| 浮標等 | - | 9 | - | - | 1 | 0 | - | 10 |
| 航空機 | - | - | - | - | - | - | 0 | 0 |
| その他 | - | - | - | - | 6 | - | - | 6 |
| 建設仮動定 | - | 54 | - | - | - | - | - | 54 |
| インフラ資産 | 789,761 | - | - | - | 3,729 | - | - | 793,490 |
| 土地 | 83,919 | - | - | - | 945 | - | - | 84,863 |
| 建物 | 1,667 | - | - | - | 114 | - | - | 1,782 |
| 工作物 | 698,263 | - | - | - | 2,479 | - | - | 700,741 |
| その他 | 20 | - | - | - | - | - | - | 20 |
| 建設仮動定 | 5,893 | - | - | - | 191 | - | - | 6,084 |
| 物品 | 201 | 12,620 | 435 | 103 | 2,776 | 383 | 1,630 | 18,147 |
| 合計 | 845,414 | 173,337 | 13,443 | 3,707 | 77,158 | 38,868 | 74,738 | 1,226,665 |